

1)テーマ

「理想」の看護を学ぶカリキュラムを。

2)カテゴリー:②教育内容(授業・演習・実習など)

3)学校概要:朝霞地区医師会立 朝霞准看護学校
〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1-7-3
准看護師養成課程1学年30名定員 2年課程

卒業までもない卒業生の何人かは、
「学校で学んだのは理想だった」
「現実、そのような看護は行なえない」と話します。

しかし、こうとも言います。
「ここ(朝霞准看護学校)でしか学べなかった」
「よい看護を学んだ」
「もっと、もっと授業が聞きたかった」。
そんな看護が学べるカリキュラムを、当校はずっと続けています。
いつか卒業生の「理想」が、卒業生自身のために
地域で開花する日を目指して。



入学後すぐに、副校長からコミュニケーションの授業で“手で触れること”の温かさと大切さを学びます。技術だけではなく、相手を思い、寄り添う看護。心に残り続ける“よい看護”を目指します。



看護演習で、まず、教員や先輩から熱布バックケアを受け、心地よさを体験します。そして自らも練習を繰り返します。その感覚を大切にしながら、自らも何度も練習を重ねます。技術だけではなく、相手を想う看護を学んでいきます。



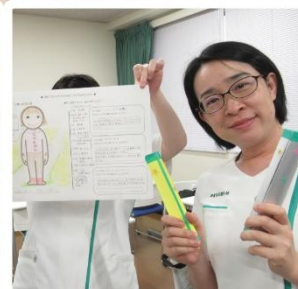
地域とつながり、小児がんの支援にも取り組んでいます。レモネードスタンドを企画し、学生はポップ作成や運営まで主体的に活動しています。“看護を学ぶ”だけでなく、“誰かの力になる”経験を大切にしています。



「熱布バックケア」「て・あ〜て」を日常的に行なっている、愛媛県の実須賀病院で実習し、看護がもたらす結果の大きさに、生徒の誰もが感動します。看護の力で表情や言葉、患者さんの反応が変わっていく。“人に寄り添う看護”がもたらす大きな力に、多くの学生が心を動かされます。



看護実習では、学生自ら熱布バックケアを実践します。はじめは半信半疑だった指導者も、患者さんの表情や意欲の変化、こぼれる笑顔に触れ、思わず涙することもあります。看護が人の心を動かす瞬間を、学生たちは現場で学んでいきます。



実習後は教務主任が丁寧に振り返りを行ないます。
「現状、できない」ではなく、もっと何ができたのだろうか。看護の力であの患者さんはどう変わるのだろうか。援助を考え、試行錯誤し、より良い看護を追求します。